

(様式育休2) 育休承認具申

〇〇市(町村) 教育委員会 様

〇〇第〇〇号
平成28年12月7日

〇〇市(町村) 立〇〇学校長
〇〇 〇〇 印

育児休業 「承認」
「期間延長承認」 について(具申)

下記の者から別紙のとおり育児休業(期間延長)承認請求書の提出があり、事情やむを得ないものと認めますので、承認くださるよう具申します。

記

- 1 学 校 名 〇〇市(町村) 立〇〇学校 所属コード(△△△△△)
- 2 職・氏 名 教諭 石原 さとみ(31)歳 職員コード(△△△△△)
- 3 育児休業期間 平成26年8月18日～平成29年5月5日(32ヶ月19日間)
※現在取得している平成29年3月31日までの育児休業を、
第3子の妊娠がわかったので、第3子(平成29年6月
30日出産予定)にかかる産前休暇(平成29年5月6日～
)に入る前日まで延長。
- 4 現在までの産休状況 第1子、第2子とも、予定通りに産休を取得済み。
- 5 所 見 石原教諭は、平成26年8月18日に第2子出産後、平成29年4月1日から復帰するために、平成29年3月31日までの育休を取得していた。しかし、平成28年11月初めに第3子の妊娠が判明し、出産予定日は平成29年6月30日となった。
当初の予定通りに、平成29年4月1日に復帰したとすると、出産予定日の平成29年6月30日の8週前に当たる平成29年5月6日からは産前休暇となり、児童への見通しのある指導が難しくなるとともに、母胎への負担も考えられる。
そのため、現在の育休期間を、平成29年6月30日出産予定の第3子にかかる産前休暇に入る前日である平成29年5月5日まで延長する方が、児童への指導の面でも、母胎への負担の面からも望ましい。
したがって、育休期間の延長はやむを得ないと考えられる。
第3子出産後は、2年9ヶ月程の育休を取得し、平成32年4月1日から復帰を希望している。